

URBAN INFORMALITY/ ALTERNATIVE

MISAWA

A*PROJECT

<http://www.a-proj.jp>

Sunday, 15 October

TALK SESSION

Kenichiro Egami
Sayaka Ogawa
Tomohisa Sato
Toshikatsu Ienari
Shinichi Kawakatsu

私たちの社会は、高度に体系化され、人々の暮らしを効率的で快適なものとするために様々なレベルで管理を進めてきた。一方で、人口の縮小や空き家問題などが顕在化している日本の都市において、一人一人の生きる力、創造的に世界と関わる力が、問われているのではないだろうか。輝かしい未来に向かって、計画的に都市を作り出すのではなく、日々の小さな実践に目を向けそれらが連なりあって生み出す社会の姿を描くべき時に来ているのかもしれない。

2017年10月15日[日]

17:00 ~ 19:30

会場 UNDER THE BRIDGE

[北公園 ポートアイランド]

都市のインフォーマリティが生み出すオルタナティブ

トークセッション

そこで、今回のトークセッションでは、文化人類学をベースに都市内部の自律的な活動や、インフォーマルな場や行為へと着目した研究を行っている方々と共に、建築と文化人類学の接点、そして人々が日常的に実践しているインフォーマルなアクティビティから立ち上がる都市空間、都市の役割のオルタナティブについて再考を試みたい。

また建築分野において、統計的な手法で都市を把握するのではなく、インタビューや参与観察などのエスノグラフィ的な手法を用い、その地に住む人々の暮らしにいかに関与するかを重視する取り組みも増えてきている。

16:30 開場→17:00 趣旨説明→17:05 プレゼンテーション[江上]→17:30 プレゼンテーション[小川]
→17:55 プレゼンテーション[佐藤]→18:20 問題提起[川勝、家成]
→18:30 ディスカッション→19:20 質疑→19:30 終了

MISAWA
HOMES
KANSAI
A-PROJECT
LECTURE
SERIES

江上賢一郎 | アート・アクティビズム研究、写真家 | 1980年福岡県生まれ。早稲田大学、ロンドン大学ゴールドスミス校 文化人類学修士課程修了。留学中よりアートとアクティビズム、オルタナティブな自立空間のリーサーチを開始。現在はドローイング写真制作、アジア圏を中心としたオルタナティブスペースのリーサーチとネットワーク作りを行っている。共訳書にデヴィッド・グレーバー「デモクラシー・プロジェクト」[航思社]、論考に「Art of the Nuclear War – Collective Creation and Movements」, Creative Space-Art and Spatial Resistance in East Asia, 2013, DOXA, Hong Kong

江上賢一郎
小川さやか
佐藤知久
家成俊勝
川勝真一

小川さやか | 立命館大学大学院先端総合学術研究科准教授 | 1978年愛知県生まれ。専門は文化人類学、アフリカ研究。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程単位取得退学。博士(地域研究)。日本学術振興会特別研究員、国立民族学博物館研究戦略センター機関研究員、同センター助教を経て、2013年より立命館大学大学院先端総合学術研究科准教授。著書「都市を生きぬための狡知——タンザニアの零細商人マチンガの民族誌」[世界思想社]で、2011年サントリー学芸賞(社会・風俗部門)受賞。

佐藤知久 | 京都市立芸術大学芸術資源研究センター専任研究員/准教授 | 1967年生まれ。京都大学文学部哲学科(哲学専攻)卒業。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。博士(人間・環境学)。京都文教大学人間学部文化人類学科専任講師、同総合社会学部総合社会学科准教授等を経て、2017年度より京都市立芸術大学芸術資源研究センター専任研究員/准教授。日本文化人類学会会員。アートと社会運動の接点からひろがる新たな地平について、文化人類学的な観点と方法をもりこみながら研究している。

家成俊勝 | dot architects | 2004年よりdot architectsを共同主宰。建築における設計、施工のプロセスにおいて専門家、非専門家に関わらず、様々な人々を巻き込む、超並列設計プロセスを実践。障がい者と共に建築を建てる「Inclusive Architecture」や、障がい者施設の使用者と共に施設のリーサーチを行う「尊厳のためのデザインリーサーチプロジェクト」などを行っている。また建築を専門としながらも他分野の人々との協働プロジェクトにも多く関わる。その他にも、関西に「デザインする状況をデザインする」を合い言葉に、「DESIGNEAST」というプロジェクトの実行委員も努める。

川勝真一 | RAD | 1983年生まれ。京都工芸繊維大学大学院博士後期課程在籍。京都造形芸術大学および京都精華大学非常勤講師。2008年に建築的領域の可能性をリーサーチするインディペンデントプロジェクト RAD(Research for Architectural Domain)を設立し、建築の展覧会キュレーション、市民参加型の改修ワークショップの企画運営、レクチャーイベントの実施、行政への都市利用提案などの実践を通じた、建築と社会の関わり方、そして建築家の役割についてのリーサーチをおこなっている。

主催 ミサワホーム近畿株式会社 | 企画・監修 大島滋[Aプロジェクト室 室長]

定員 100名 | 申込 ホームページより要予約 | www.a-proj.jp | お問合せ先 ミサワホーム近畿株式会社 | 担当: 山田 | tel: 06-6341-7680